

ページ	箇所	誤	正						
104	表 7-5-1 接着安定性の項	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">接着安コンクリートとの固着性</td> <td>0.24N/mm²以上 ただし、シート全面で化学的接着によりコンクリートと一体化する工法は標準状態で 1.5 N/mm² 以上(吸水状態 1.2 N/mm² 以上)</td> </tr> </table>	接着安コンクリートとの固着性	0.24N/mm ² 以上 ただし、シート全面で化学的接着によりコンクリートと一体化する工法は標準状態で 1.5 N/mm ² 以上(吸水状態 1.2 N/mm ² 以上)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">物理的固着型</td> <td>シートを物理的に固着させる工法 0.24N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>全面接着型</td> <td>シート全面で化学的接着によりコンクリートと一体化する工法 標準状態：1.5 N/mm²以上 (吸水状態：1.2 N/mm²以上)</td> </tr> </table> <p>*成型品後貼り型シートライニング工法の品質規格（表 7-3-1）と同じ</p>	物理的固着型	シートを物理的に固着させる工法 0.24N/mm ² 以上	全面接着型	シート全面で化学的接着によりコンクリートと一体化する工法 標準状態：1.5 N/mm ² 以上 (吸水状態：1.2 N/mm ² 以上)
接着安コンクリートとの固着性	0.24N/mm ² 以上 ただし、シート全面で化学的接着によりコンクリートと一体化する工法は標準状態で 1.5 N/mm ² 以上(吸水状態 1.2 N/mm ² 以上)								
物理的固着型	シートを物理的に固着させる工法 0.24N/mm ² 以上								
全面接着型	シート全面で化学的接着によりコンクリートと一体化する工法 標準状態：1.5 N/mm ² 以上 (吸水状態：1.2 N/mm ² 以上)								
116	(3) 施工環境：	1)気温の環境基準：1日の平均気温 5℃以上又は1日の最低気温 2℃以上最高気温 35℃以下。 2)躯体温度：2～35℃以下	1)気温の環境基準：1日の最低気温 5℃以上最高気温 35℃以下。 2)躯体温度：2℃以上～35℃以下						
125	7.7 フロー図	1.専門技術者の選出 防食被覆工法の全工程で常駐する施工品質管理責任者の選出	防食被覆工法の全工程で施工管理を行う施工品質管理責任者の選出						
145	8.2 箱書き内	(2) 差異が確認された場合の処置： 確認調査の結果、差異が確認され設計図書の仕様で施工することが困難な場合は、受 (文字切れ)	確認調査の結果、差異が確認され設計図書の仕様で施工することが困難な場合は、受注者は監督職員と協議して適切な措置（設計変更等）を講じる。						
152	8.3.2	④超高压水処理の特性要因概要図 吐出水圧：150Mpa 程度	吐出水圧：150～200Mpa 程度						
158	8.3.3	図 8-5 フェノールフタレイン法の検査方法と判基準法例 ²⁾	フェノールフタレイン法の検査方法と判定基準例 ²⁾						